

京都府の地震活動

平成 29 年 (2017) 11 月

第 30 卷 第 11 号

京都地方気象台

目 次

震央分布図、概況	・・・ 1
震央分布図、断面図	・・・ 2
京都府で震度 1 以上の揺れを観測した地震の震度一覧表	・・・ 3
京都府で震度 1 以上の揺れを観測した地震の震度分布図	・・・ 4
【地震一口メモ】「南海トラフ地震に関連する情報」について	・・・ 5

『京都府の地震活動』は、京都府及びその周辺の地震活動状況を解説するとともに、地震防災知識の普及に資するため、毎月刊行しています。

本誌に掲載した震源要素、震度データは、再調査された後、修正されることがあります。

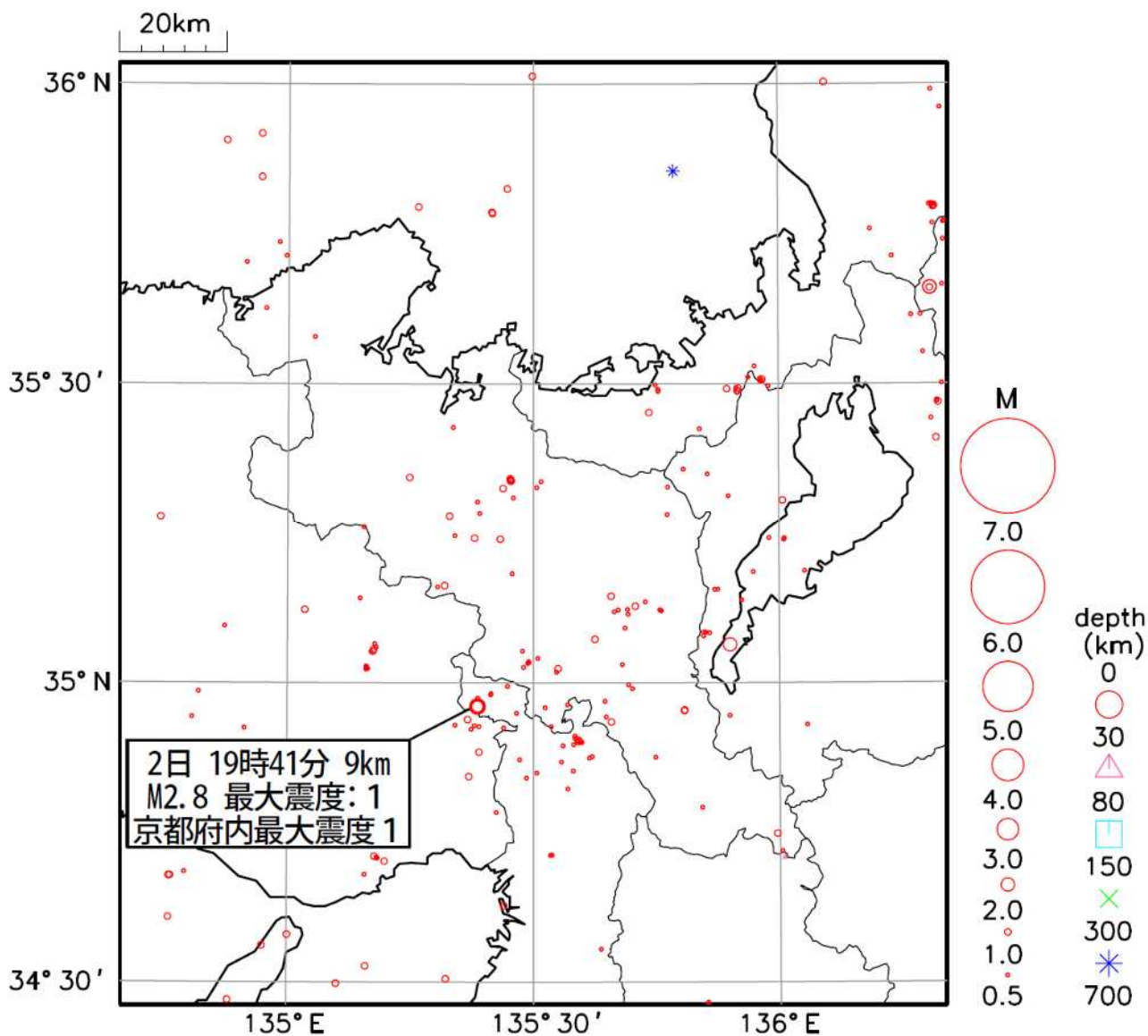
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用しています。

震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

震央分布図（マグニチュード0.5以上、深さ0～700km）

2017 11 01 00:00 - 2017 11 30 24:00

総数：237



- ・震源の深さを表す「 \square 、 \triangle 、 \times 、 $*$ 」の記号は、マグニチュード（M）の大きさに応じたサイズで表記。
- ・震度1以上を観測した地震には、日時、マグニチュード（M）及び京都府内で震度を観測した地震については、京都府内最大震度を付記。
- ・注）2日19時41分にほぼ同じ場所で続けて地震が発生したため、震度1がどちらの地震により観測されたか特定できませんでした。最大震度はマグニチュードが大きいほうの地震のみ記載しています。

概況

11月の震央分布図内で観測したマグニチュード2.0以上の地震は6回、震度1以上の揺れを観測した地震は1回でした（10月はそれぞれ11回、2回）。

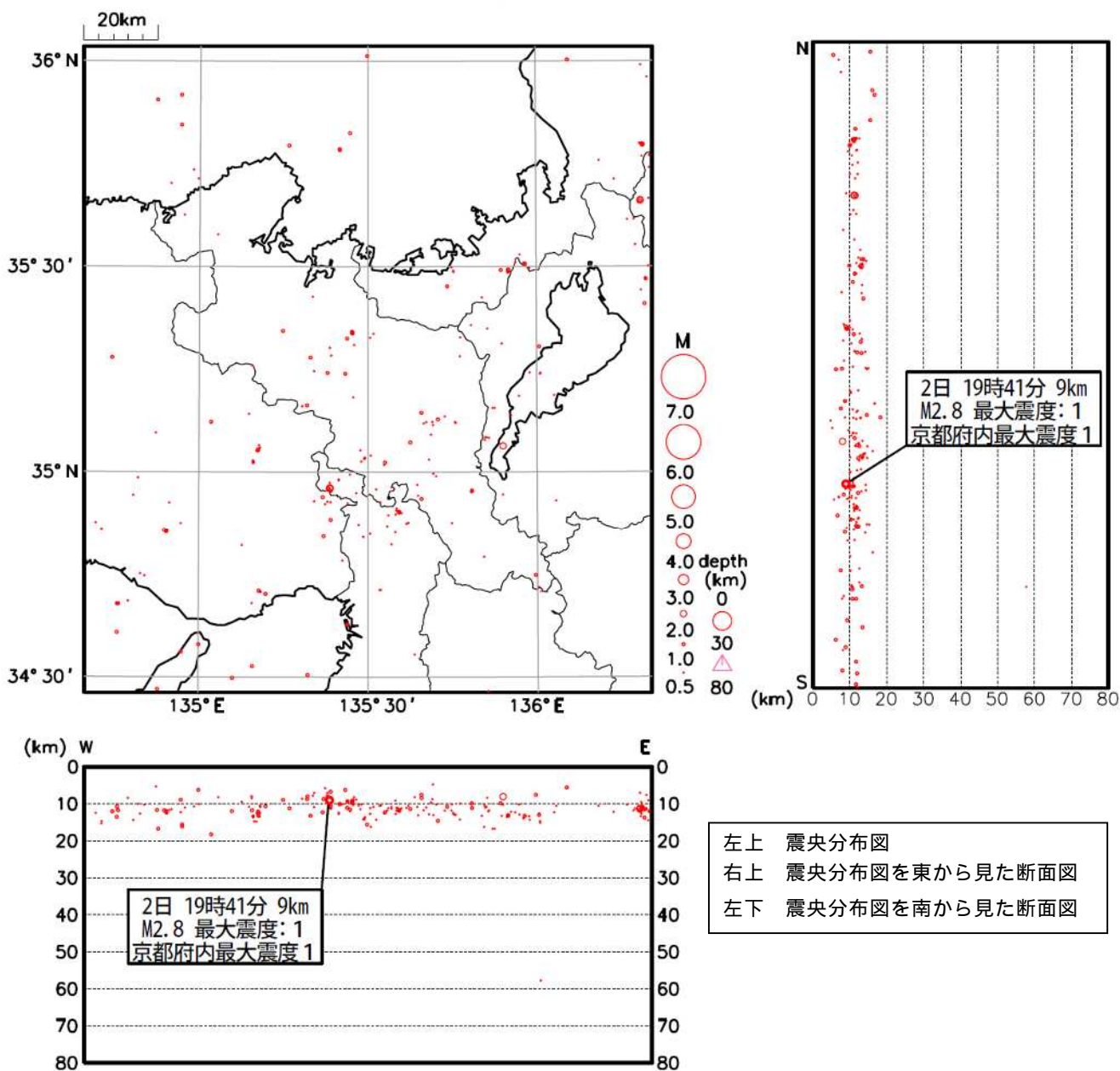
発生した地震のうち、京都府内で震度1以上の揺れを観測した地震は1回（10月は1回）でした。

2日19時41分 兵庫県南東部の地震（M2.8、深さ9km）により、京都府亀岡市、大阪府能勢町、兵庫県猪名川町で震度1を観測しました。

震央分布図、断面図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）

2017 11 01 00:00 - 2017 11 30 24:00

総数：236



左上 震央分布図
 右上 震央分布図を東から見た断面図
 左下 震央分布図を南から見た断面図

・震源の深さを表す「 \circ 」、「 \triangle 」の記号は、マグニチュード(M)の大きさに対応したサイズで表記。

深さ数 km～約 20km に分布している地震は陸側のプレート内で発生した地震（地殻内地震）、深さ約 30km～約 60km に分布している地震は、沈み込むフィリピン海プレート内の地震です。

京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度一覧表(2017年11月)

番号	観測日時		震央地名	北緯	東経	深さ	規模
	月日	時分		(度分)	(度分)	(km)	(M)
	11月2日	19:41	兵庫県南東部	34°57.6	135°23.1	9	2.8
	11月2日	19:41	兵庫県南東部	34°57.6	135°23.2	9	2.5

地域	震度観測点	所属	各地の震度
北 部	福知山市内記	気	-
	福知山市長田野町	防	-
	福知山市三和町千束	自	-
	福知山市夜久野町額田	自	-
	福知山市大江町河守	自	-
	舞鶴市下福井	気	-
	舞鶴市浜	防	-
	舞鶴市北吸	自	-
	綾部市若竹町	自	-
	宮津市柳縄手	自	-
	伊根町亀島	防	-
	伊根町日出	自	-
	京丹後市弥栄町吉沢	気	-
	京丹後市久美浜町広瀬	防	-
	京丹後市峰山町	自	-
	京丹後市大宮町	自	-
	京丹後市網野町	自	-
	京丹後市丹後町	自	-
	京丹後市弥栄町溝谷	自	-
	京丹後市久美浜市民局	自	-
南 部	与謝野町加悦	自	-
	与謝野町岩滝	自	-
	与謝野町四辻	自	-
	京都北区紫竹	自	-
	京都北区中川	自	-
	京都上京区藪ノ内町	自	-
	京都上京区今出川御前	自	-
	京都左京区広河原能見町	防	-
	京都左京区田中	自	-
	京都左京区鞍馬	自	-
	京都左京区花脊	自	-
	京都左京区岩倉	自	-
	京都左京区大原	自	-
	京都中京区西ノ京	気	-
	京都中京区河原町御池	自	-
	京都東山区清水	自	-
	京都下京区河原町塩小路	自	-
	京都南区西九条	自	-
	京都右京区京北周山町	自	-
	京都右京区太秦	自	-

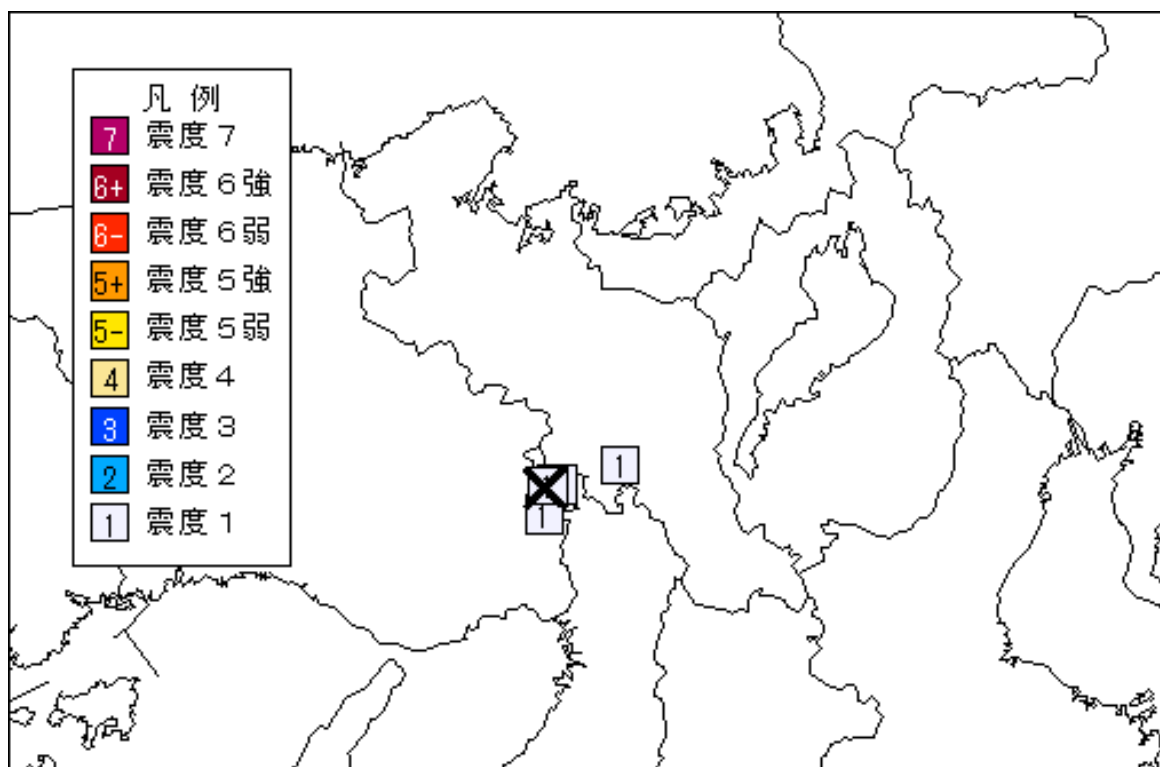
地域	震度観測点	所属	各地の震度
南 部	京都右京区嵯峨	自	-
	京都右京区嵯峨嵯原	自	-
	京都伏見区竹田	自	-
	京都伏見区醍醐	自	-
	京都伏見区向島	自	-
	京都伏見区淀	自	-
	京都伏見区久我	自	-
	京都山科区安朱川向町	防	-
	京都山科区西野	自	-
	京都西京区櫻原	自	-
	京都西京区大枝	自	-
	宇治市宇治琵琶	気	-
	宇治市折居台	防	-
	亀岡市安町	気	1
	亀岡市余部町	防	-
	城陽市寺田	自	-
	向日市寺戸町	自	-
	長岡京市開田	自	-
	八幡市八幡	自	-
	大山崎町円明寺	自	-
部	久御山町田井	自	-
	京田辺市田辺	自	-
	井手町井手	自	-
	宇治田原町荒木	自	-
	笠置町笠置	自	-
	和束町釜塚	自	-
	精華町南稲八妻	自	-
	南山城村北大河原	自	-
	京丹波町坂原	気	-
	京丹波町蒲生	自	-
	京丹波町橋爪	自	-
	京丹波町本庄	自	-
	南丹市美山町島	自	-
	南丹市園部町小桜町	自	-
	南丹市八木町八木	自	-
南丹市日吉町保野田	自	-	
木津川市山城町上狛	自	-	
木津川市加茂町里	自	-	
木津川市木津	自	-	

注1：所属のうち、「気」は「気象庁」、「防」は「防災科学技術研究所」、「自」は「自治体」を示しています。

注2：表 数字は、11月に京都府内で震度1以上の揺れを観測した地震番号を表しています。

注3：2日19時41分にほぼ同じ場所で続けて地震が発生したため、震度1がどちらの地震により観測されたか特定できませんでした。

京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図（観測点別）



11月02日 19時41分 兵庫県南東部の地震（M2.8、深さ9km）

11月02日 19時41分 兵庫県南東部の地震（M2.5、深さ9km）

（図中の×印は震央位置）

注）2日19時41分にほぼ同じ場所で続けて地震が発生したため、震度1がどちらの地震により観測されたか特定できませんでした。

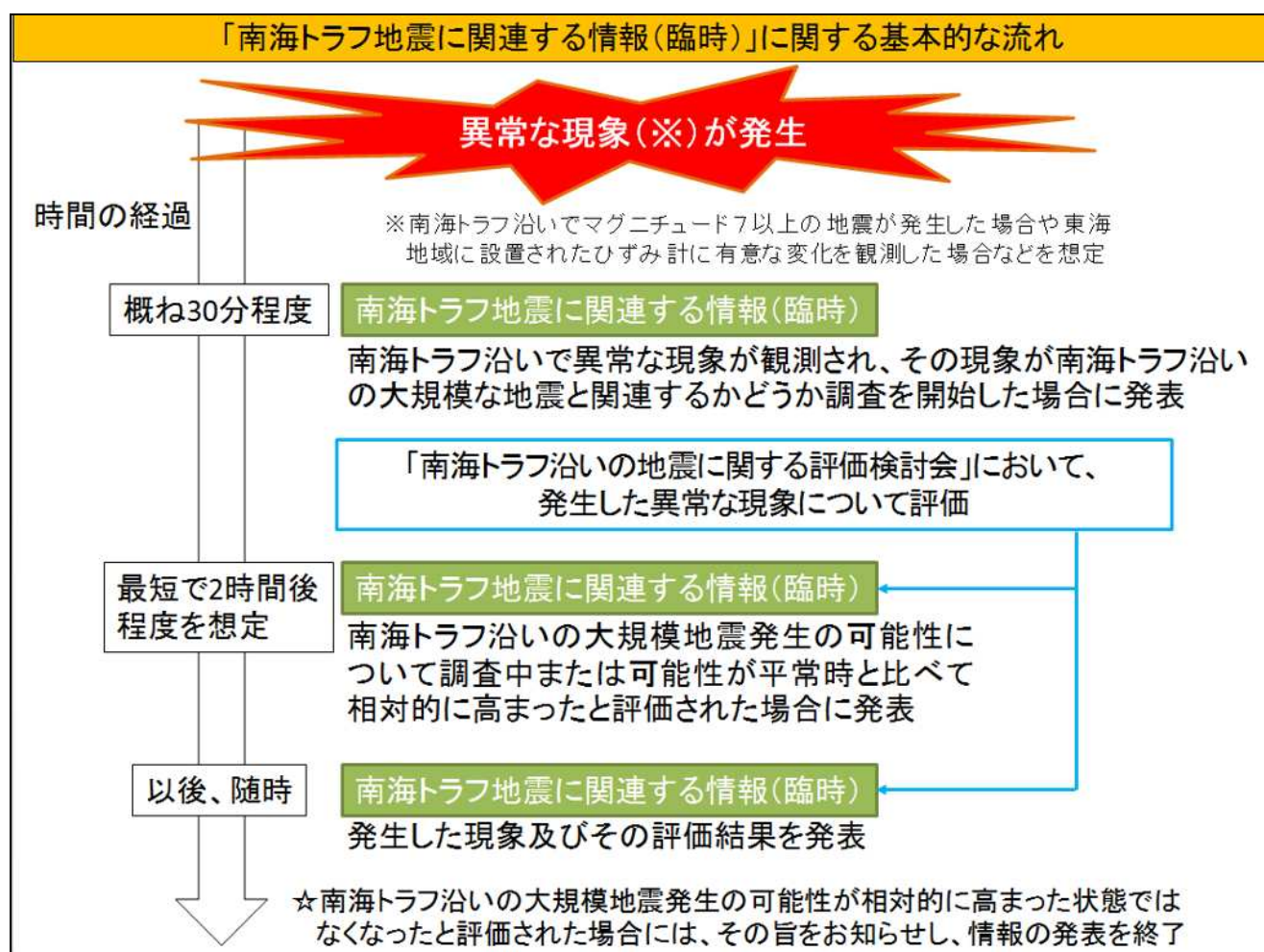
【地震一口メモ】「南海トラフ地震に関連する情報」について

「南海トラフ沿いの地震観測・評価に基づく防災対応検討ワーキンググループ」の報告を受け、気象庁は「南海トラフ地震に関連する情報」の運用を2017年11月1日12時から開始しました。

本情報が発表される際の基本的な流れをご紹介します。

本情報には「臨時」と「定例」があります。「臨時」は異常な現象が発生した際に下図の条件やタイミングで発表します。一方「定例」は、毎月月末に開催する「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合において評価した調査結果を会合当日に発表します。11月27日に発表した「定例」では“現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。”とされました（次ページ参照）。

「臨時」の内容を理解するには普段から「定例」を見ていただき「通常の南海トラフ沿いにおける地震活動」がどのようなものであるかを把握しておくことが大切です。また、「臨時」を発表していなくても南海トラフ沿いの大規模地震が発生する可能性があることに留意し、家具の固定や避難経路の確認など日頃の備えをお願いします。



「定例」の情報は気象庁の報道発表資料の次のページに掲載されています。このページには情報の内容の根拠となった各関係機関作成の資料も掲載されていますので、合わせてご覧ください。

<http://www.jma.go.jp/jma/press/1711/27a/nt20171127.html>

「南海トラフ地震に関連する情報（定例）」2017年11月27日17時00分発表

http://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nteq/teirei/201711271700_teirei.html

平成29年11月27日
気象庁地震火山部

南海トラフ地震に関連する情報（定例）

本日（11月27日）開催した第1回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第379回地震防災対策強化地域判定会で評価した、南海トラフ周辺の地殻活動の調査結果は以下のとおりです。

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

1. 地震の観測状況

主な深部低周波地震（微動）として、11月15日以降、奈良県から愛知県のプレート境界付近を震源とする深部低周波地震（微動）を観測しました。

2. 地殻変動の観測状況

GNSS観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

また、11月15日以降、三重県、愛知県、静岡県及び長野県の複数のひずみ観測点でわずかな地殻変動を観測しました。

3. 地殻活動の評価

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは今のところ得られていません。

一方、上記の深部低周波地震（微動）及びひずみ観測点で観測した地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した「短期的ゆっくりすべり」に起因すると推定しています。

以上のように、現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

**（参考）南海トラフ地震に関連する情報の種類 **

【南海トラフ地震に関連する情報（臨時）】

以下のいずれかに該当する場合に発表。

南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合。

観測された現象を調査した結果、南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合。

南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が相対的に高まった状態ではなくなったと評価された場合。

【南海トラフ地震に関連する情報（定例）】

南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会の定例会合において評価した調査結果を発表。

GNSSとは

GNSS(Global Navigation Satellite System / 全球測位衛星システム)は、GPS、GLONASS、Galileo、準天頂衛星(QZSS)等の衛星測位システムの総称です。(国土地理院ホームページより)